

病理診断科／病理部 での 研修について教えてください。

病理診断科・病理部では病理診断業務を体験できます。

検体は消化器, 呼吸器, 乳腺, 産婦人科, 泌尿器科, 骨軟部腫瘍, 皮膚, 眼科, 頭頸部, 血液疾患, 脳腫瘍など様々で, 幅広い分野の疾患が経験できます。大学病院ならではの希少例もあり, アーカブ検体を含め, 症例は豊富です。各診療科とのカンファレンスが多いことも特徴で, 希望者には病理所見の提示・解説を担当してもらいます。近年, 病理検体の遺伝子異常から難治腫瘍の治療法を探るがんゲノム医療が保険適応となり, 腫瘍量やDNA分解度の評価など適切なホルマリン固定パラフィン包埋ブロック(FFPE)の選択, 組織診断において病理検査室は重要な役割を果たしています。

Web開催される各専門家によるエキスパートパネルを視聴可能で先端医療に携わることができます。

病理専攻に興味のある方はもちろん, 臨床医, 放射線科医, 基礎医学を志望する研修医も大歓迎です!!

病理診断科／病理部 准教授
池田 博子

